

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【公開番号】特開2007-140494(P2007-140494A)

【公開日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2006-281832(P2006-281832)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 H

G 0 9 G 3/20 6 2 2 D

G 0 9 G 3/20 6 2 2 A

G 0 9 G 3/20 6 2 2 G

G 0 9 G 3/20 6 1 1 H

G 0 9 G 3/20 6 7 0 F

G 0 9 G 3/20 6 7 0 E

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月9日(2009.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゲート信号線と、

ソース信号線と、

スイッチを介して前記ゲート信号線に接続され、前記ゲート信号線に信号を出力するシフトレジスタ回路と、

前記スイッチのオン、オフを制御する信号が入力される配線と、

前記ゲート信号線及び前記ソース信号線に接続され、前記ゲート信号線が選択されているときに前記ソース信号線から信号が書き込まれる画素と、

前記ソース信号線及び前記配線が接続され、前記ソース信号線からの入力信号が前記画素を非点灯にする信号であり、かつ前記配線からの入力信号が前記スイッチをオンにする信号であるかを検出する検査回路と、

前記検査回路が接続され、前記検査回路からの入力信号に基づき前記ゲート信号線に出力する信号のタイミングを修正する信号修正回路と、

を有することを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

ゲート信号線と、

ソース信号線と、

第 1 のスイッチを介して前記ゲート信号線に接続され、前記ゲート信号線に信号を出力する第 1 のシフトレジスタ回路と、

第 2 のスイッチを介して前記ゲート信号線に接続され、前記ゲート信号線に信号を出力

する第 2 のシフトレジスタ回路と、

前記ソース信号線に信号を出力する駆動回路と、

前記第 1 のスイッチのオン、オフを制御する信号が入力される第 1 の配線と、

前記第 2 のスイッチのオン、オフを制御する信号が入力される第 2 の配線と、

前記ゲート信号線及び前記ソース信号線に接続され、前記ゲート信号線が選択されているときに前記ソース信号線から信号が書き込まれる画素と、

前記ソース信号線及び前記第 2 の配線が接続され、前記ソース信号線からの入力信号が前記画素を非点灯にする信号であり、かつ前記第 2 の配線からの入力信号が前記第 2 のスイッチをオンにする信号であるかを検出する検査回路と、

前記検査回路が接続され、前記検査回路からの入力信号に基づき前記ゲート信号線に出力する信号のタイミングを修正する信号修正回路と、
を有することを特徴とする表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、

前記信号修正回路は複数のバッファ回路を有し、

かつ、前記検査回路からの前記入力信号に基づき、前記ゲート信号線に直列に接続される前記バッファ回路の個数を変化させることを特徴とする表示装置。

【請求項 4】

請求項 3 において、

前記信号修正回路は、前記ゲート信号線に出力される前記信号のタイミングが遅いときには、前記ゲート信号線に直列に接続される前記複数のバッファ回路の個数を正常なときよりも減少することを特徴とする表示装置。

【請求項 5】

請求項 3 において、

前記信号修正回路は、前記ゲート信号線に出力される前記信号のタイミングが早いときには、前記ゲート信号線に直列に接続される前記複数のバッファ回路の個数を正常なときよりも増加することを特徴とする表示装置。

【請求項 6】

請求項 3 乃至 5 のいずれか一項において、

前記バッファ回路は、複数のインバーターが直列に接続されていることを特徴とする表示装置。

【請求項 7】

請求項 1 又は請求項 2 において、

前記信号修正回路は第 1 乃至第 3 のバッファ回路を有し、

かつ、前記第 1 のバッファ回路及び前記第 2 のバッファ回路を介して前記ゲート信号線に前記信号を出力する第 1 の状態と、前記第 1 乃至第 3 のバッファ回路を介して前記ゲート信号線に前記信号を出力する第 2 の状態と、前記第 1 のバッファ回路を介して前記ゲート信号線に前記信号を出力する第 3 の状態と、のいずれか一の状態により、前記ゲート信号線に出力する前記信号の前記タイミングを修正することを特徴とする表示装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか一に記載の表示装置を有することを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示装置及び電子機器